

高レベル 放射性廃棄物の 文献調査に関する シンポジウム

現在神恵内村においては高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する文献調査を行っています。

文献調査の進捗状況は、神恵内村「対話の場」においてNUMOから説明がなされてきましたが、NUMO以外の視点を神恵内村にお住まいの皆様にご覧いただくために、地質学の専門家をお招きしてシンポジウムを開催することといたしました。

2023 11/25(土) 13:30~17:00
令和5年 [受付/13:00~]

入場
無料

- 場 所: 神恵内村漁村センター [古宇郡神恵内村大字神恵内村65番地4]
- 参加対象: 神恵内村にお住まいの方
- 内 容: 地層処分(文献調査の状況を中心に)の概要説明
専門家による講演・質疑応答
- 進 行: 神恵内村「対話の場」ファシリテーター
大浦 宏照氏・佐野 浩子氏

登壇者

北海道教育大学
名誉教授

岡村 聡氏

送迎バスがございます ※参加申込書参照

お子様連れの方の中継会場をご用意しております ※裏面参照

お申込み

参加申込書に記入のうえ **事務局**に【持参 (NUMO神恵内交流センター 神恵内村大字神恵内村122-1)】
または【FAX (050-3453-0576)】または【メール (kamoenai@numo.or.jp)】にて

お問い合わせ

神恵内村「対話の場」事務局
[NUMO神恵内交流センター (TEL: 0135-67-7711)]

お申込み
締切

2023.11/22(水)

※シンポジウムの模様は撮影し、後日NUMOのホームページ等で公開いたします。

※シンポジウムの模様は報道機関に公開します。報道機関にはプライバシーへの配慮を依頼しますが、参加者の様子がニュース等を通じて報道される可能性があります。

Speakers 登壇者

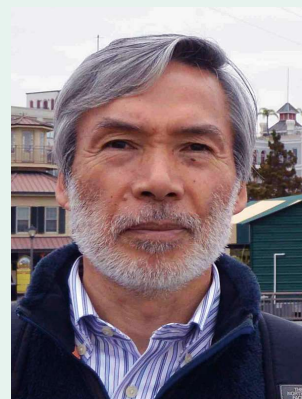
おか むら さとし

岡村 聡氏

北海道教育大学 名誉教授
北海道総合地質学研究センター 専務理事

1984年 北海道大学大学院理学研究科地質学鉱物学専攻博士後期課程単位取得退学、理学博士。1984年～2018年北海道教育大学札幌校にて教育・研究に従事。同年より北海道教育大学名誉教授。

専門は北西太平洋縁辺（北海道、東北日本、ロシア沿海州、サハリン）の新生代火成岩の岩石学的研究で、日本海やフォッサマグナの形成など日本列島の発達過程を解明してきた。さらに、岩石鉱物学的視点から、地質災害・歴史津波・考古学を対象とした研究に従事。



Facilitator ファシリテーター

さ の ひろ こ
佐野 浩子氏

Presence Bloom 代表

臨床心理として児童養護施設や女性支援施設、中学高校、総合病院等で勤務。現在は、個人開業の心理士としての仕事のほか、ファシリテーターや講師として企業等で活動。神恵内村「対話の場」サブファシリテーター。

Moderator モデレーター

おお うら ひろ あき
大浦 宏照氏

NPO 法人市民と科学技術の
仲介者たち 代表

札幌市在住。本業は災害調査を専門とする地質エンジニア。防災士としても、市民防災に関するイベントを企画運営している。北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)修了。技術士。博士(工学)。科学コミュニケーター。神恵内村「対話の場」ファシリテーター。

